

令和2年7月16日
企画振興部企画課
いしかわ創生推進室
谷内、湊 内線 3620
外線 076-225-1313

国立工芸館ライトアップの開始について

開館に向けた気運の醸成を図るため、以下のとおり国立工芸館のライトアップを開始します。

国立工芸館は加賀百万石回遊ルートの一角に位置しており、鼠多門・鼠多門橋の供用・ライトアップ開始に合わせて、18日（土）から開始します。

記

1. 開始日

7月18日（土）

2. 時間帯

毎日、日没から午後10時まで

3. 内容

外壁を彩る窓枠装飾や手すり装飾、三角形の切妻壁、円柱形の付け柱など、移築・活用した国登録有形文化財の旧陸軍第九師団司令部庁舎と金沢偕行社の明治期の洋風建築の意匠を照らし出す。

(参考) 国立工芸館の本県への移転について

- 2016(平成 28)年 3 月、国の地方創生を推進するための政府関係機関の地方移転の一環で、工芸を専門とする唯一の国立美術館である国立工芸館（正式名称：東京国立近代美術館工芸館）の移転が決定し、これにより日本海側初の国立美術館が誕生することとなった。国立工芸館を運営する（独）国立美術館において、10月の開館を目指して準備を進めている。
- 建物は、国の登録有形文化財である旧陸軍の第九師団司令部庁舎と金沢偕行社を移築・活用し、過去に撤去された部分や外観の色を明治期の建設当時の姿に復元。
- 収蔵作品は、国立工芸館が所蔵する人間国宝及び日本芸術院会員の全ての作品（約 1400 点）をはじめ、日本の工芸の歴史を語るうえで欠かせない美術工芸作品約 1900 点以上が移転。